



理事よりご挨拶

～医療情報連携における取り組みについて～

この度、MMWINの理事を拝命いたしました、東北大学病院メディカルITセンター部長の大田英揮と申します。病院内の医療情報管理を担う立場であると同時に、放射線診断科医として日々の診療では画像診断やInterventional Radiology^{注1}を行っています。MMWINの今後の発展的継続に尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。今回は、医療情報連携における取り組みの中から、特に画像情報の授受に関する事例をご紹介します。

紹介患者の画像授受は、現在も多くの施設でCD/DVDやFAXに依存しています。近年、画像診断機器の高性能化により、CTやMRIでは撮像枚数が飛躍的に増加しており、循環器・大血管領域など広範囲撮影が必要な疾患では数千枚に及ぶこともあります。地域病院で精査後に治療目的で当院へ紹介される場合、これら膨大な画像を保存メディアから院内PACSに取り込むには長時間を要し、患者さんの待ち時間延長や診察予約の遅れが恒常的に発生していました。

一般財団法人
医療介護ネットワーク推進財団MIYAGI
理事 大田 英揮

東北大学病院 教授
メディカルITセンター部長
放射線診断科



当院では昨年度より、一部連携施設との間でMMWINの情報受け渡しサービスを活用し、放射線検査画像および画像診断報告書のオンライン授受を開始しました。MMWINアプリを搭載した端末にはPACSへの画像アップロード機能も備えており、紹介元の患者情報から当院IDを含む情報へのDICOMタグ書き換え、PACSへの直接アップロードまでを一元的に実行できます。さらに、画像診断報告書のPDFファイルも電子カルテに直接登録可能です。これにより、従来は1患者あたり十数分から数時間かかっていたDVD/CD読み込み作業が短縮され、スタッフの作業負担は大幅に軽減しました。紙の報告書や紹介状をスキャンしたPDFではなく、直接授受したPDFファイルを使用することで画質も向上しました。FAXや紙媒体でのやり取りを極力廃止し、チャット機能によるリアルタイム確認体制を構築したことで、即時性と正確性が高まり、ペーパーレス化も進展しました。また、患者さんが来院する前に必要情報を授受できるため、診察開始までの所要時間が短縮され、待ち時間軽減と診療の円滑化が実現しています。

MMWINの画像情報共有システムは有用ですが、手術計画には院内の3Dワークステーションによる評価が不可欠であり、画像授受は今後も重要な仕組みです。本取り組みは診療効率化に加え「Planetary Health^{注2}」「SDGs」の観点からも意義があり、物理メディアや紙資源削減は医療現場の環境負荷軽減にも寄与します。当院は今後も、地域医療連携の強化に環境配慮を加えたデジタル化を推進していきたいと考えています。

注1：Interventional Radiology（インターベンショナル・ラジオロジー）とは、日本語では「画像下治療」と訳しています。X線（レントゲン）やCT、超音波などの画像診断装置で体の中を透かして見ながら、細い医療器具（カテーテルや針）を入れて、標的となる病気の治療を行います。外科手術のようにおなかや胸を切らずに、体の奥にある臓器や血管の治療ができる方法です。そのため、患者さんの体への負担が圧倒的に少ないという特徴を持っています。

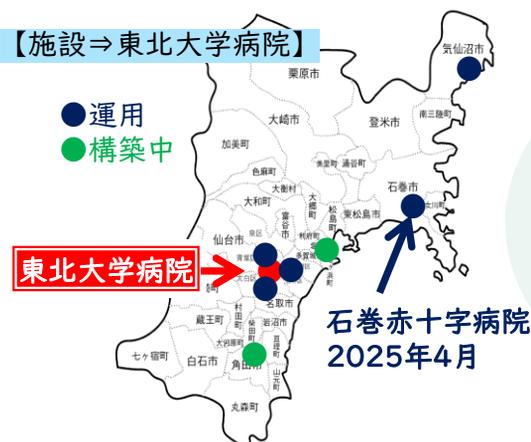
注2：Planetary Health（プラネタリーヘルス）とは、人間の健康と地球環境が密接に相互依存しているという認識に立ち、地球環境の悪化（気候変動、生物多様性の減少など）が人間の健康や生存を脅かしている現状を踏まえ、人間と地球の健康のバランスが取れた持続可能な関係を築くための研究・教育・行動の枠組みを指します。

画像受渡機能の利用状況

MMWINシステムを活用した検査、及び画像データの授受を扱う施設が広がっています。本年4月から、石巻赤十字病院様から東北大学病院様へ紹介される患者さんを対象に、画像受渡機能を活用した連携を開始しております。更に2つの施設が運用開始に向けて構築を進めております。



石巻赤十字病院様



【石巻赤十字病院スタッフ様の声】

患者様の受診前に東北大学病院側の医師が画像情報を事前に確認できる点は、メリットだと思います。実際、東北大学病院からの紹介状にも「MMWINで参照してください」と記載されることが増えています。現在は東北大学病院への画像送信のみ行なっていますが、画像の受信についても院内で検討を進めていく予定です。



お知らせ

MMWIN事務局からのお知らせです

- ★ **Windows11へ移行をお願いします！**
Windows 10のサポートが2025年10月14日に終了する事に伴い、セキュリティ更新プログラムの提供が停止し、サイバー攻撃のリスクが高まることが懸念され、当財団としては、皆様に安心してMMWINをご利用いただくため、「重要な医療情報」を守る情報セキュリティの維持・向上を最優先課題と考えております。つきましては、お手数をおかけしますが、セキュリティ強化のため、各施設様の都合に合わせてWindows 11への切り替えをご検討いただきますようお願い申し上げます。
- ★ 令和7年7月6日をもちまして旧法人の電話番号は閉鎖されました。
022-395-6312(使用不可) 今後は**022-725-8411**へご連絡をお願いいたします。
- ★ 返信用封筒の差し替えをお願いいたします。
旧法人名の返信用封筒をお持ちの施設様は、新法人名に交換いたしますので、事務局または担当者へご連絡をお願いします。



一般財団法人 医療介護ネットワーク推進財団MIYAGI
〒980-0872 仙台市青葉区星陵町1-1東北大学病院仮管理棟1F
【事務局】 TEL 022-725-8411 FAX 022-725-8514 TEL : 022-399-6880
E-mail : office@mmwin.or.jp URL : http://mednetmiyagi.or.jp/

当財団からのメールを受信できない場合がございますので、「@mmwin.or.jp」からのメールを受信できるように設定してください。
『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般財団法人 医療介護ネットワーク推進財団MIYAGIの登録商標です。
※本誌の収録内容の無断転載、複写、引用、改変等を禁じます。



MMWIN通信のバックナンバーは
ホームページに掲載しております